

報道関係各位

一般社団法人日本オーディオ協会

平成27年度 第20回「音の匠」顕彰

一般社団法人日本オーディオ協会（会長 校條 亮治）は、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識していただき、また音楽とオーディオ産業発展のために、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会などと共に、1994年に12月6日を「音の日」と制定しました。

この12月6日は発明王トーマス・エジソンが1877年、世界で初めて錫箔円筒式蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音を記録し再生するオーディオの誕生日ということになります。

「音の日」の記念行事の一つとして、日本オーディオ協会は1996年より、「音」および「音楽」を通じて、文化創造や社会貢献に卓越した能力を持ち、実践している「個人」、また「組織」を「音の匠」として顕彰し、広く一般の方々に素晴らしい音の世界を認識していただく活動をつづけております。

第20回目にあたる本年度は、生体の分泌する代表的なタンパク質としてクモの糸の物理化学的研究に長年取り組み、多くの著書や論文を発表され、実現化に向けてクモの糸の機能性を明らかにするために、クモの糸でヴァイオリン用の弦を作成された、奈良県立医科大学 名誉教授、大崎 茂芳氏を「音の匠」として顕彰いたします。

平成27年度「音の匠」

大崎 茂芳（おおさき しげよし）氏

奈良県立医科大学 名誉教授
理学博士・農学博士

以上

（添付資料）

1. 顕彰者プロフィール
2. 「音の匠」受賞者一覧

データ資料は報道関係者様専用ダウンロードサイトよりご利用いただけます。

アドレス <http://www.jas-audio.or.jp/press/>

